

# 北海道林木育種場旧庁舎



南側全景

風雨の関係で傷みがあり。2階外壁部分は一部、危険防止のために壁部分を改修済み。



北西側全景

この庁舎は、昭和2年に建築され、石材、木材を巧みに組み合わせた構造、外観を持ち、大正、昭和初期に流行した、いわゆるハーフテンバーを基調としたもので、端正で均整のとれた上質な外観意匠を持っています。内部についても、林木育種場庁舎ということから、木製ドア、腰壁板、木製窓枠などの優れた意匠が見られ、豊かな空間を形成していて、当時の状態の部分が相当数残されています。

また、階段手すり、床仕上げ、縋り型などに技量の高さを伺わせる左官工事もなされています。大正、昭和初期の建築物、特に庁舎建築物の中で現存するものが少ない点からも貴重なものと言えます。



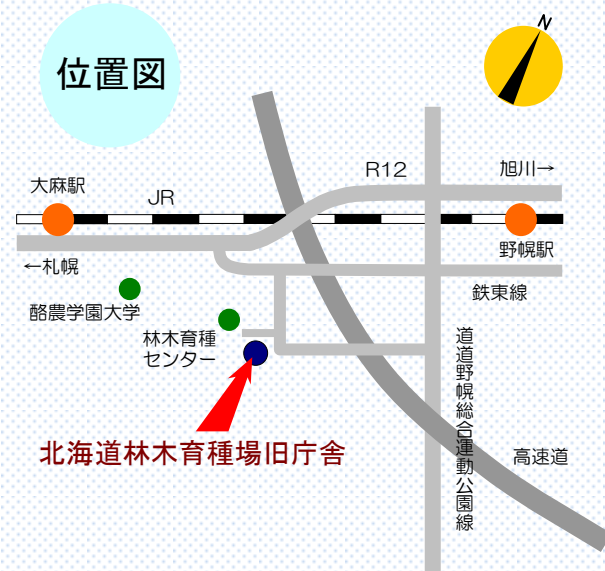
建築当時の写真

## 江別市の概要

江別市は、石狩平野の中央に位置する人口約12万人、隣接する札幌市へは電車で15分、新千歳空港まで高速で40分と道路網が整備された道央圏の交通の要所でもあります。

また、市内には、日本三大河川のひとつ、石狩川が流れ、先人が遺し、世界に向けて誇れる約2,050ヘクタールの大自然、野幌森林公園では数多くの動植物を観察することができます。周辺には、4つの大学と北海道立総合研究機構食品加工研究センター、北海道立教育研究所、北海道電力(株)総合研究所、(株)北海道情報技術研究所などの各種研究機関が集積し、緑豊かな自然と学びのまちでもあります。

### 位置図



【建物上空から酪農学園大学を望む（札幌方面）】



明治年代から、野幌国有林において、北海道林業に係わる研究が広く行われ、北海道林木育種場旧庁舎は、昭和年代に入ってから林業研究の要となっていたことから、江別市の歴史的背景を特徴づける重要な建物です。

また、文京台地区に広がる緑の丘陵地のほぼ頂部に位置するこの建物は、国道12号を札幌方面から江別市内へ向かう車中からも遠望できる江別市の貴重なランドマークのひとつでもあります。



問い合わせ先 江別市教育委員会生涯学習課  
(北海道江別市高砂町24-6・TEL011-381-1060)

北海道江別市

# 沿革

- 明治41年6月1日  
札幌郡江別村字野幌国有林内に帝室林野局野幌林業試験場を設置。
- 昭和2年11月  
内務省林業試験場北海道支場が江別村字志文別（現西野幌）から現在地（現文京台緑町）に移転改築。
- 昭和8年1月  
内務省北海道林業試験場に名称変更。
- 昭和11年10月7日  
陸軍特別大演習にあたって、野幌原始林内大沢に昭和天皇の行在所が置かれ、秩父・三笠宮殿下と共に林業試験場に行幸。林内散策。
- 昭和22年5月  
林政統一により、道庁所管の北海道林業試験場と合併し、農林省林業試験場札幌支場に名称変更。
- 昭和20年代  
北海道林業講習所としても活用。
- 昭和26年7月  
農林省林業試験場野幌分室に名称変更。
- 昭和32年4月  
農林省林野庁北海道林木育種場となる。
- 昭和34年  
林野庁北海道林木育種場庁舎となる。（昭和50.1.24 道新）
- 昭和44年10月  
野幌国有林の大部分が道立公園及び林野庁の自然休養林に指定。
- 昭和47年5月  
林業試験場北海道支場野幌試験地を廃止。（試験地庁舎は旧気象観測所を利用—昭和5年建設）
- 平成8年3月  
林木育種センター北海道育種場の新庁舎完成に伴い、庁舎としての利用を終える。
- 平成13年8月28日  
文化庁・登録文化財として登録告示。
- 平成13年10月  
供用開始。

# 建物概要

- 所在地／北海道江別市文京台緑町561番地の2
- 建築年月／昭和2年11月
- 構造／1階：煉瓦組構造、2階・小屋裏：木造、屋根：一文字葺（平成12年12月改修）
- 建築方法／ハーフテンパー（柱、梁、筋交等の軸組を全部組み立ててから、その間にセメントや石を詰め込んで壁をつくる建築法）を基調とした、当時としては斬新な洋風近代建築物です。
- 面積／1階 743.64㎡  
2階 649.12㎡  
小屋裏 139.12㎡  
合計 1,531.88㎡
- 建築用途／事務所

# 旧庁舎内部



**文化財整理室1号・2号**  
埋蔵文化財の整理のための事務室兼作業場。  
床と照明、暖房は改修済み。



**書庫**  
小規模の事務室として利用可能。  
床と照明、暖房は改修済み。



**研修室1号**  
建設当時の状態が保存されていて、レトロ調のまま。未改修。



**特別応接室**  
戦前に昭和天皇が行啓の際にご休憩された部屋。未改修。



**研修室2号・3号**  
建設当時の状態が保存されていて、レトロ調のまま。未改修。



**正面玄関**  
正面玄関の周りは、石造りで当時のままである。扉は建設当時とは異なる。



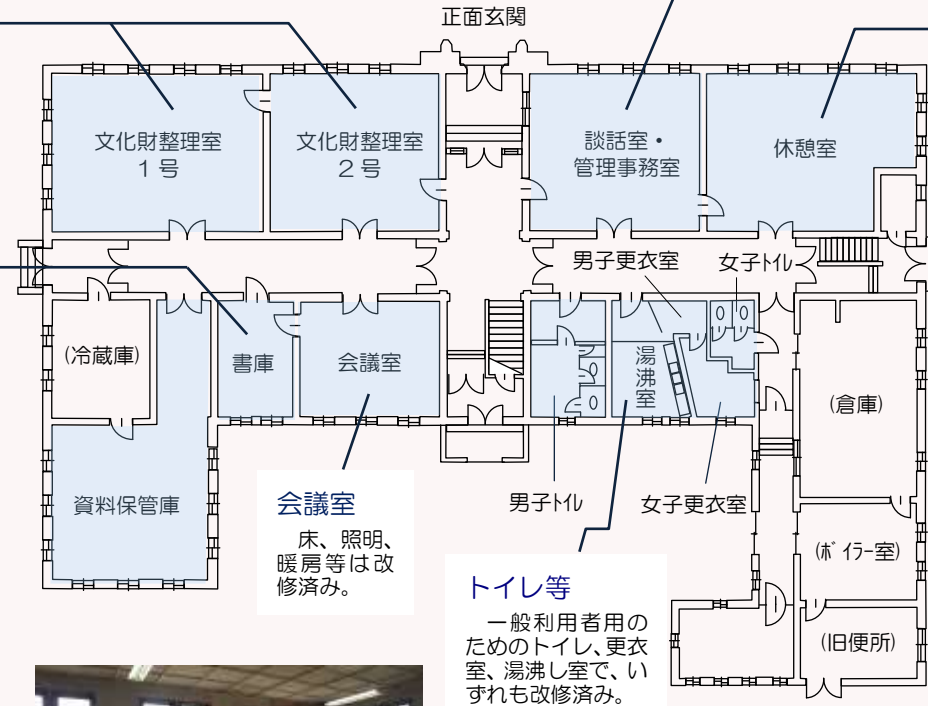
**管理事務室兼談話室**  
施設管理のための事務室と一般利用者の談話・休憩室。  
床と照明、暖房は改修済み。



**休憩室**  
一般利用者用の休憩室。一部が畳敷きになっていて、仮眠程度も可。  
床と照明、暖房は改修済み。

□ = 改修済

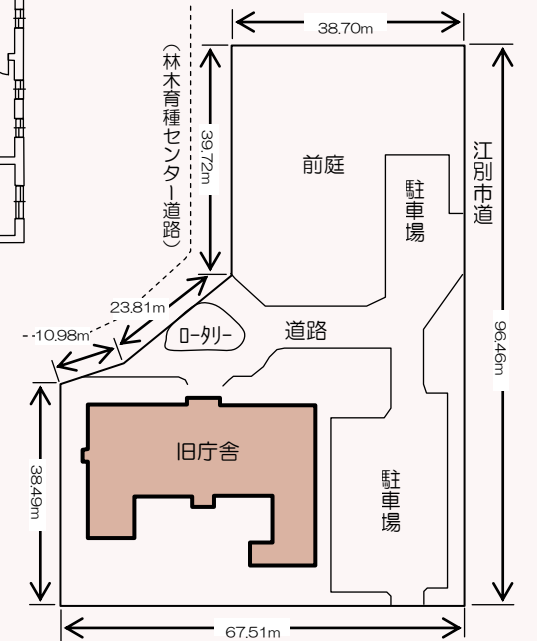
## 1階平面図



**トイレ等**  
一般利用者用のためのトイレ、更衣室、湯沸室で、いずれも改修済み。

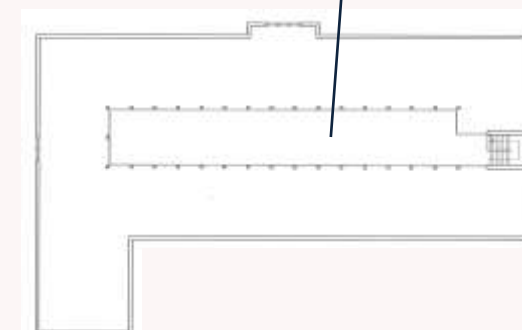


## 敷地図

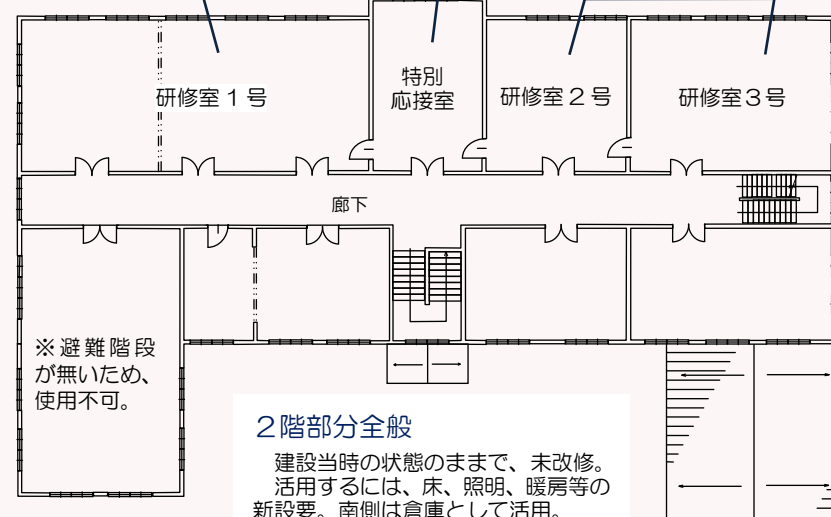


**小屋裏**

## 小屋裏平面図



## 2階平面図



※避難階段が無いため、使用不可。

### 2階部分全般

建設当時の状態のままで、未改修。活用するには、床、照明、暖房等の新設要。南側は倉庫として活用。



### 基礎部分

基礎はレンガを使用しており、造りはしっかりしている。